

令和5年度

2 級土木施工管理技術検定二次検定

解 答 試 案

※ご注意※

- ・この解答試案は CIC 日本建設情報センターが独自に制作・編集した試案であり、試験実施機関による公式な採点基準や解答とは異なります。解答試案の内容及び正当性に関するお問い合わせは受け付けておりませんので悪しからずご了承ください。
- ・試験実施機関の(一財)全国建設研修センターとは一切関係ございません。

CIC 日本建設情報センター
Construction Information Center
建設業特化 教育&研修ソリューション

<https://www.cic-ct.co.jp/>

不許複製

問題 1～問題 5 は必須問題ですので必ず解答してください。

※問題 6～問題 9 までは選択問題(1)、(2)です。

問題 6、問題 7 の選択問題(1)の 2 問題のうちから 1 問題を選択し解答してください。

問題 8、問題 9 の選択問題(2)の 2 問題のうちから 1 問題を選択し解答してください。

必須問題

【問題 1】

※施工経験記述問題のため、解答例は省略します。

必須問題

【問題 2】

記号	適切な語句
イ	順序
ロ	土止め支保工
ハ	防護網
ニ	損壊
ホ	開始

必須問題

【問題 3】

以下の①～④の中から2つを選び、再資源化後の材料名又は主な利用用途を解答欄に記述する。

特定建設資材	再資源化後の材料名	主な利用用途
①コンクリート	・再生クラッシャーラン	・コンクリート用骨材
②コンクリート及び鉄から成る 建設資材	・再生コンクリート砂 ・再生粒度調整碎石	・基礎材 ・路盤材
③木材	・木質ボード ・木質マルチング材	・住宅構造用建材 ・コンクリート型枠
④アスファルト・コンクリート	・再生加熱アスファルト安定処理混合物 ・表層・基層用再生加熱アスファルト混合物 ・再生クラッシャーラン	・路盤材 ・基層材、表層材 ・基礎材

上記以外にも正答となり得る解答はあるが、本試案では代表例を提示する。

必須問題

【問題 4】

記号	適切な語句
イ	地質
ロ	崩壊
ハ	法肩
ニ	モルタル吹付
ホ	柵

必須問題

【問題 5】

コンクリートに関する用語①～④の中から2つ選び、用語の説明を解答欄に記述する。

	用語の説明
①アルカリシリカ反応	コンクリート中のアルカリ分と骨材に含まれるシリカ分との反応によってコンクリートに膨張ひび割れが生じる現象。
②コールドジョイント	コンクリートを層状に打込む場合に、先に打ち込んだコンクリートと後から打ち込んだコンクリートとの間が、完全に一致していない不連続面。
③スランプ	フレッシュコンクリートの軟らかさの程度を示す指標。
④ワーカビリティ	材料分離を生じることなく、運搬、打込み、締固め、仕上げ等の作業が容易にできる程度を表すフレッシュコンクリートの性質。

上記以外にも正答となり得る解答はあるが、本試案では代表例を提示する。

選択問題（1）

【問題 6】

記号	適切な語句又は数値
イ	品質
ロ	工法
ハ	乾燥密度
ニ	90
ホ	仕様書

選択問題（1）

【問題 7】

記号	適切な語句
イ	焼きなまし鉄線
ロ	スペーサ
ハ	同一
ニ	セパレータ
ホ	剥離剤

選択問題（2）

【問題 8】

下記の事業者が実施すべき安全対策の中から各1つ選び、解答欄に記述する。

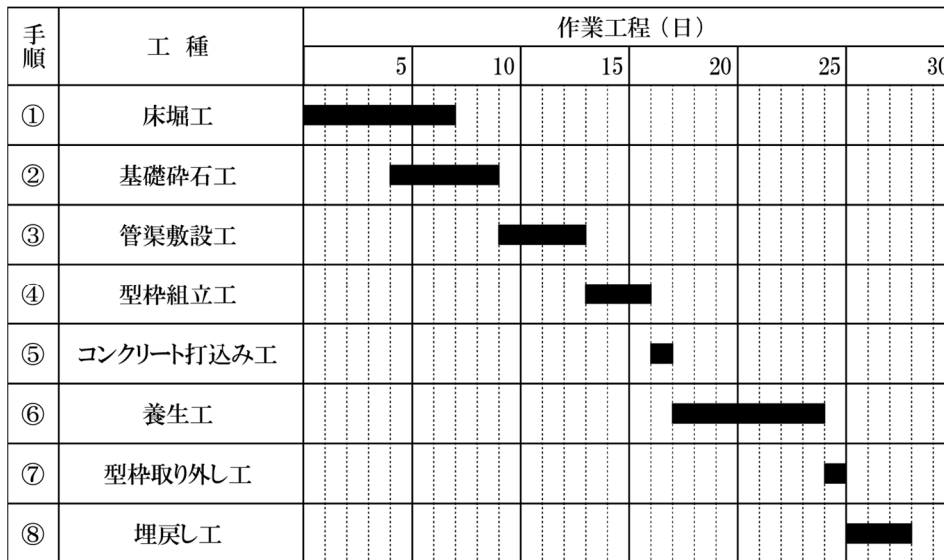
		事業者が実施すべき安全対策
①	移動式クレーン作業	<ul style="list-style-type: none"> ・移動式クレーンにその定格荷重をこえる荷重をかけて使用しない。 ・移動式クレーンの運転について一定の合図を定め、合図を行う者を指名して、その者に合図を行わせる。 ・移動式クレーンの上部旋回体と接触することにより労働者に危険が生ずるおそれのある箇所に労働者を立ち入らせない。 ・強風のため、危険が予想されるときは、作業を中止する。
②	玉掛け作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイヤロープの安全係数が6以上でなければ使用しない。 ・キンクしたものを玉掛用具として使用しない。 ・著しい形くずれ又は腐食があるものを玉掛用具として使用しない。 ・その日の作業を開始する前に、ワイヤロープ等の異常の有無について点検を行う。

上記以外にも正答となり得る解答はあるが、本試案では代表例を提示する。

選択問題（2）

【問題 9】

下記の通り横線式工程表(バーチャート)を作成し、全所要日数を解答欄に記述する。



全所要日数
28日

